

職業講話（沼津市立第四中学校）

と き	令和2年11月13日（金）13:30～15:00
と ころ	沼津市立第四中学校 教室
対 象	2年生（89人）
内 容	仕事の意義や礼儀、社会のルールやマナーなど社会人として必要とされる事柄について理解を深めるきっかけとし、また、自己の進路決定に役立てられるよう職業選択の仕方を学び、自己理解の充実に役立てる。これらを目指し、男女共同参画推進事業所（4社）による職業講話を行いました。



【米久株式会社の方】

私は入社3年目となります。利益のみでなく地域に貢献する社会活動をしたいという目的、自分の仕事の価値観が生かせる場所に就職しました。

チーム全員の価値観をお互いに大切にすることでよりよい仕事ができ、お互いを高めあうことができます。

職場では女性も活躍していて、子育てから復帰した課長もいます。

皆さんも自分の価値観を大切に、やりがいのある仕事を探してください。



【東工業株式会社の方】

私はこの年で、「何のために働くか」が、「他人を幸せにするため」だと気付きました。人を幸せにするために一生懸命になる人は、どんな仕事に就いても人から必要とされる人になります。皆さん誰もが、「人を幸せにするために社会を構成する一部分」だと思って欲しいです。私は「従業員を幸せにする」ために頑張っています。わが社は従業員も管理職もほぼ半数が女性で、個人の能力を十分発揮できる会社です。男女共同で働くには、男性も女性もお互いの特性を理解し、思いやることが大切です。



【自衛隊沼津地域事務所の方】

自衛隊というと男性の職場と思われがちですが、一昨年から女性の採用を積極的に進めています。今年は女性がパイロットや部隊長に任命され、また潜水艦の乗員の訓練を受ける女性もいて、女性も活躍の場を広げています。

自衛隊は、他国から日本を守る事、災害時などに国民の暮らしを守る事、国際平和協力活動などの世界への貢献を主な仕事としています。災害現場での復旧活動などでは、住民の方に感謝の言葉を言うてもらったこともあり、そのような時に人のために仕事をしていると実感が湧きます。



【保育士の方】

近年では男女関係なく需要のある保育士ですが、男性が求められるポイントは父親の役割的なものだと思います。保育は子どもたちの成長を毎日感じられるやりがいのある仕事です。私は就職前、保育の職業体験をしたのですが、数日で疲れてしまいました。その時本当に保育士になるか悩みましたが、こどもたちの笑顔を思い出すと、やりがいが大変さを上回り、最終的には保育士を選んでいました。皆さんも将来就きたい職業があれば、大変な所も含めて調べ、理解を深め本当にやりたい仕事を見つけてください。

子どもたちの感想

- 働く意味が分かりました。人を幸せにできるかが大切というのが分かりました。
- 自分の利益だけではなく相手のことを第一に考えて仕事をするのが大事ということが分かりました。
- 女だからとかそういうのが昔はわからないけど、前よりもよくなってきているのかなと思いました。でもまだ（職場の男女比、役職の女性割合が）6%とか10%とか言っていたり、まだ男の人の方が働きやすいんだなと思いました。
- どの職業も男女差別をなさそうとしていて女性も働きやすくなりうれしく感じました。
- 女性も活躍できる時代になっているし、努力をしたらその分上に上がれるのは、自分の頑張りが認められるようで喜びを感じられそうです。
- 日本を守る、国民を守るという任務はとても大変だけど、すごく責任感があってやりがいがたくさんありそうだなと思い、「自衛隊」という仕事、楽しそうだなと思いました。
- 自衛隊は男性が多いイメージが強かったけれど、最近では女性も増えてきていると聞いて、誰でも努力すれば何にでもなれると感じました。
- 保育士は女性が多いイメージだけど今は男性の保育士が多くなっていて、男性は父親的役割だったり、力仕事だったりするので女性の方も大変そうだけど男性も大変だなと思いました。
- 今までイメージだけでこの仕事はしたくないなど決めつけていたけど、やりがいなどを知ったうえで自分の職について考えたいと思いました。